



母国から呼び寄せた家族も雇用。従業員と家族のような関係を。

株式会社ダイコー製作所は、自動車部品を始めとするダイカスト製品の後工程（バリ取り、機械加工、検査）を一貫請負しています。従業員の2/3を占める外国人社員は、まさに当社の主要な戦力。「遠い外国から当社に来てくれた。外国人社員との出会いは、奇跡的なもの」と語る沢井弘志代表取締役にお話を伺いました。（インタビュー日：2021年7月）



沢井 弘志 代表取締役

－ 外国人社員を採用するようになった経緯は？

2000年に中国人の技能実習生を受け入れたのが最初です。生産工程の管理を任せるエンジニアも必要になってきた頃、視察先のベトナムで、実習生送り出し機関の社長と知り合いました。そこを通じて、ハノイ工科大学をはじめ現地の有名大学から希望者を募り、採用するルートができたのです。国内で技術者を採用するのは難しく、日本に来る留学生も工業系の大学は少ない。でも**現地なら、優秀な人材を採用することが可能**です。

今は、ベトナムからの直接採用と国内での他社からの転職が半々でしょうか。転職は、ハローワークで応募してくることもありますが、最近は社員からの紹介が多いですね。

2年ほど働いて母国の家族を呼び寄せるエンジニアも多いのですが、来日直後の奥さんは日本語を話せません。でも**当社なら母国語で仕事ができる**ので、奥さんにもアルバイトとして働いてもらうようになりました。

－ どのような業務に就いているのでしょうか？

エンジニアは、生産管理や生産技術、プログラミングやジグの設計を、実習生とアルバイトは、加工機械の刃物の取り替えやプログラムの調整などを行っています。検査指示書やマニュアルはベトナム語でも用意しています。

ベトナム人は他人に指示を出したり注意したりすることが苦手な人が多く、あまりリーダーになりたいがらないのですが、ベトナム人のリーダーも6名いて、日本人の部下を持っていますよ。

－ 外国人社員にどのような支援をしていますか？

実習生には、技術はもちろんですが、**是非日本語を覚えて帰ってほしい**と考えています。N1、N2を取っていると、帰国した時、給料が2倍、3倍になるんです。工場長が週3回、自主的に日本語勉強会を開催してくれています。初年度にN3、2年目にN2、3年目にN1取得が目標です。

また、**一時帰国の希望があれば、最長2週間とルールを決めて、帰国を許可しています**。家族との時間は大切にしたいですから。



5軸プログラミングをするエンジニア

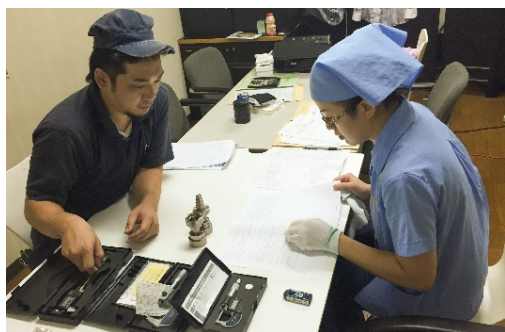


品質検査を行う実習生

－ 外国人社員を受け入れて、社内が変わりましたか？

日本人社員の伝える能力が格段に上がりました。外国人にも分かるように、丁寧に、漏れなく指示するようになり、**日本人の部下にもよく伝わるようになった**と思います。

また、幹部が優しくなりましたね。社員がただの仕事上の関係ではなく、**家族のような関係**を築いています。工場長と実習生は、まさに父と娘の関係。実習生が3年働いて帰国するときは、早朝に社員が職場で見送り、関空にも20人ほどで見送りに行きます。毎年繰り返される光景です。



社内測定技術試験の様子

－ 社内交流のためにいろいろ工夫されているそうですね。

社員が毎週新しいピックについて**日誌に意見を書き、朝礼で順番に発表**しています。外国籍社員にとっては、日本語を書く、話す練習になりますし、話した内容をきっかけに、社員同士、声をかけ合うことが増えました。

また、“働く目的はお金だけではない”と伝えたくて、社員全員に**誕生日にメッセージカード**を渡しています。

休憩時間やボーリング大会、焼き肉パーティーなどでは、ベトナム人はすさまじいエネルギーを発揮しますね。日本人は圧倒されるほどで、新入の日本人社員が「こんなに国際的な会社とは思わなかった」と驚いています。

－ 何か注意点はありますか？

お国柄なのでしょうが、失敗を認めないことが多いです。しかし製造業では、失敗したことを隠すと大変な問題につながります。**「失敗したら、きちんと報告する」ということは徹底させていますね。**

また、「実習生と違って、**高度人材はずっと働いてくれるでしょう**」と言われますが、**そんなことはありません。**3年ほど働いて技術を習得すると、より高度な技術を覚えたいと考える人もいます。**今の会社に魅力を感じなくなれば転職動機につながり**、その点は日本人と同様です。

担当者からの一言

今後、ベトナム人社員が帰国後、同社から発注して、ベトナムでプログラムを設計し、日本で製造するといった海外展開も考えているそうです。同社のものづくりを理解しているので、安心して任せられそうですね。



朝礼の様子



ボーリング大会



加工に使う5軸マシニングセンター

【株式会社ダイコー製作所】
住所：大阪府東大阪市寺前町2-6-15
代表者：代表取締役 沢井 弘志
創業：1995年、設立：2006年
業種：ダイカスト製品の後工程一貫請負
資本金：2,500万円
従業員数：95名
(うち技術・人文知識・国際業務32名、技能実習生12名、アルバイト18名。国籍はベトナム58名、タイ4名)
HP：<https://www.daikoseisakusho.com/>